

今回東洋移民合資会社ヨリ其取扱ニ係ル秘露国「アンカシ」省「サンタ」州所在「サンホセ」及「スウテ」耕地行移民心得方別紙印刷物認可ヲ警視庁へ願出同庁ヨリ当省へ照会
有之候ニ付該印刷物認可差支ナキ旨回答致置候処該印刷物
中渡航諸入費ノ項ニ於テ横浜ヨリ「カヤオ」港ニ至ル船賃
金九拾円「カヤオ」港ヨリ「サマソコ」港ニ至ル船賃金拾
円「カヤオ」港滞在費及転乗諸費概算金七円トアルハ森岡
移民合名会社ノ同印刷物ニ記シタル渡航費用トハ甚シキ相
違有之森岡取扱人ハ当初東洋汽船株式会社トノ協定ニヨリ
神戸横浜ヨリ耕地上陸港迄渡航費金九十五円ト定メ多数移
民ヲ搭載セルトキハ其儘「カヤオ」港ヨリ耕地上陸港ニ廻
船シ又小人数ノ移民ナルトキハ東洋汽船株式会社ノ在里馬
代理店「グレース」ナル者ノ引受ニヨリ移民ヲ「カヤオ」
港ニテ他船ニ転乗セシメ目的港ニ輸送スル取扱ニテ何レノ
場合モ九十五円ノ定額渡航費ニテ支弁致居リ又「カヤオ」
滞在費及転乗諸費用ハ慣例上森岡移民合名会社ニ於テ負担
シ居ル由ニ候尤モ森岡取扱人ニ於テモ「カヤオ」港滞在其
他ノ費用迄ヲ負担スルハ慣例ヨリ来リシ外別ニ理由ナキニ
ヨリ移民ノ支弁ニ改メ度旨本省へ申立ノ次第有之候此ノ如

シテ今般在「カニエテ」耕地ヨリ別表ノ通り一覽表ヲ提出
致来リ候ニ付キ御参考迄ニ及御送付候 敬具

註 外交文書第四十五卷第一冊(二九五文書)

(別紙)

在「カニエテ」本邦移民送金遅達ノ件

大正二年一月三日

カニエテ郡サンタバルバラ村長

渡辺嘉太郎報告

金額	在里馬森岡商 會領收証ノ日	本國ヨリ来リ タル不着ノ旨 ノ手紙ノ日附	送者氏名
金 額	井医師ニ依 托ノ日附		
百 円	四五年 二月十二日	四五年 三月二十七日	小田切吉四郎
参拾円	〃	〃	〃
金 額	〃	〃	〃
不 明	〃	〃	〃
百 円	三月二十八日	六月六日	川 辺 要 助
百 円	四月四年 十二月二十日	四五年 一月十日	前田常右衛門
拾 円	四五年 一月十一日	〃	〃
百 円	四五年 十二月五日	〃	〃
百 円	四五年 二月十六日	四五年 三月二十七日	本 莊 常 作

備考 右ノ内前田常右衛門ノ如キハ送金不達ヲ慮リ以来再送金

キ関係ニテ渡航費額ハ両移民会社ノ立場ヨリ定マルベキ事
情モ有之当省ニ於テ其適否ヲ探究致難キニ付其地ニ於ケル
実況篤ト御調査相成東洋移民合資会社取扱ノ渡航費用ハ森
岡移民合名会社ト同様ニ為サシムルヲ得サルヤ又前示森岡
取扱人ノ申出ハ聴届ケザルヲ得サル義ナルヤ若シ然リトセ
バ其費額ハ幾何ヲ相当トスベキヤ等御取調ノ上何分ノ義御
回報相成度此段申進候也

註 別紙心得書省略

三 移民送金及積金

一六九 一月十七日

在リマ伊藤領事館事務代理ヨリ
桂兼任外務大臣宛

森岡移民会社取扱移民送金延着ノ実例報告ノ件

機密第一号

(三月四日接受)

大正二年一月十七日

在里馬

領事館事務代理 伊 藤 敬 一(印)

外務大臣公爵 桂太郎殿

客歲十二月二十八日附機密第一八号ヲ以テ申進置候在里馬
森岡移民会社支店取扱ニ係ル送金延着ノ件ニ付キ其一例ト

見合セ身辺ニ所持シ居タル処二三ヶ月前金壹百円也盜難ニ
罹リ又
小田切吉四郎ハ送金見合セ現金所持中前田ノ如ク盜難ニ罹
ルナキヤト非常ニ苦慮シ居ルトカ云々

一七〇 一月二十三日

川上警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

森岡移民合名会社ノ保管スル移民積金ニ関ス
ル件

第二八七号ノ六

(二月二十四日接受)

客年十二月二十日附送第二八六八号ヲ以テ移民取扱人森岡
移民合名会社ノ保管スル移民積立金ニ関シ御照会ノ趣了承
致候会社ニ対シ取調タルニ從來移民力積立金ヲ為シタルハ
明治三十二年及明治三十六年ノ兩回ニ渡航シタル南米秘露
国契約移民ノミニシテ其後積立金ヲ為シタル者ナク又該積
立金ハ在秘露国里馬市倫敦銀行ニ預金トシテ保管中ノ趣ニ
有之候而シテ積立金カ今日尚残存セル理由ハ前記移民中多
數ノ逃亡者ヲ生シ又ハ移民取扱人ヨリ金錢ヲ貸与セル者等
アリテ是等ノ者ニ対シ契約上ノ損害賠償額又ハ貸金額ト積
立金額トヲ差引クトキハ却テ移民ノ負債トナルモノ多キ等
ノ事情ノ為メ未解決ノ儘今日ニ至リタル次第第二有之会社ニ

於テハ右整理ノ為メ在秘露国里馬市會社支店ヘ之カ調査ヲ
促シ置キタル趣別紙之通申出候ニ付テハ右調査ノ結果ニ依
リ速ニ支払ヲ了スベキ旨示達致置候条此段及回答候也

大正二年一月二十三日

警視總監 川上親晴(印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

(別紙)

答申書

本月十一日附ヲ以テ當會社取扱秘露契約移民積立金ニ関シ
明治三十二年及三十六年度移民以外ニ積立金ノ有無及其保
管場所及今日迄残存セル理由ニ付御下間相成候処前記積立
金ハ元移民取扱人森岡真ニ於テ取扱ヒタル明治三十二年度
及同三十六年度契約移民以外ニハ無之其保管場所ハ秘露国
リマ市秘露倫敦銀行ニ有之今日迄残存セル理由ニ付テハ三
十二年度及三十六年度移民ニ関シテハ多數ノ逃亡者有之為
メニ多額ノ損害ヲ来タシ及多數ノ貸金者ヲ生ジ是等ノ内積
立金ヲ差引モ猶下足ノモノ不尠或ハ損害ノ賠償ニ応ゼザル
モノ或ハ航航セルモノ又ハ歸來者及貸金者モ一時ニ取立ツ
ルコト不能事情モ有之之等ノモノ多數有之候為未整理ノ儘

申書ヲ差出シ候就テハ果シテ右申立ノ如キ事情ノ下ニ里
馬支店ニテ積金整理中ニ有之候哉又該積金ハ里馬市秘露倫
敦銀行ニ預托シアルハ事實ナルヤ御調査ノ上何分ノ義御回
報相成度候也

註 右積金表及一月十三日附森岡移民合名會社答申書寫省略

一七二 三月一日 坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

森岡會社扱「ペルー」移民送金遲著ニ関シ同
會社代表者ニ諭達方ノ件

送第一〇三五号

貴管下移民取扱人森岡移民合名會社扱移民郷里送金遲着ノ
件ニ関シ別紙^(註)寫ノ通在里馬帝國領事館ヨリ報告有之候ニ付
右ノ如キ不始末無之様同會社代表者ニ御諭達相成尚ホ同會
社業務取扱ニ対シテハ嚴重御監視相成度此段申進候也

註 別紙ハ大正元年十二月二十八日附在リマ伊藤領事館事務代
理ヨリ桂兼任外務大臣宛機密第一八号寫ナリ省略ス

一七三 三月六日 坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

森岡會社扱「ペルー」移民ノ郷里送金延着ニ
九「ペルー」移民雜誌 (三) 一七二 一七三 一七四

ニテ會社ニ於テ引繼候次第ニ有之候右ニ付整理上目下秘露
當會社支店ニ命ジ調査中ニ屬シ居候間詳細ハ明了次第御届
可申上候

右御答申上候也

大正二年一月十三日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名會社

代表者 保田龜太郎(印)

警視總監 川上親晴殿

一七一 二月七日 内田外務大臣ヨリ
在リマ伊藤領事館事務代理宛

森岡移民合名會社ノ保管スル移民積金ニ関ス
ル件

送第八号

今般當方ニ於テ森岡移民合名會社ノ保管スル秘露移民積金
額取調ノ節同取扱人ヨリ別紙寫積金表ヲ提出致候処該表ヲ
査閱スルニ第一回契約移民ハ渡航後十五年第二回契約移民
ハ十年ヲ經過シタル今日ニ於テ尚且積金ノ支払ヲ了セザル
ハ不都合ノ次第ニ付其理由ヲ推問シタルニ別紙寫ノ通り答

付同社取扱人ニ嚴重戒告方ノ件

送第一一五二号

在里馬森岡移民合名會社支店ノ取扱ニ係ル移民送金延着ノ
件ニ付テハ曩ニ申進タル次第有之候処其一例トシテ「カニ
エテ」耕地在留者ヨリ差出シタル別紙一覽表寫今回在里馬
帝國領事館ヨリ差送り候ニ付御参考迄ニ及御送付候尚ホ森
岡取扱人ノ不始末ニ因リ送金延着ノ為メ移民中送金ヲ見合
ハスモノ等アリテ憂フベキ結果ヲ惹キ起シ候ニヨリ同取扱
人ニ対シ嚴重御戒告相成様致度此段申添候也

註 別紙一覽表前掲ニ付省略ス

一七四 三月十三日 安樂警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

在「ペルー」國本邦移民郷里送金延着ニ関ス
ル件

附記 大正元年十二月六日附森岡移民合名會社ヨリ安
樂警視總監宛上申書寫

第一七三号ノ二 (三月十四日接受)

本月六日附送第一一五二号ヲ以テ移民取扱人森岡移民合名
會社ノ取扱ニ係ル秘露移民郷里送金延着ノ件御申越ノ趣了

承会社ニ対シ取調候処右ハ客年十二月九日附送第二八七号ノ四ヲ以テ会社ノ營業狀態ニ関シ及回報置候通全部支払済ナル旨別紙之通申出候条此段及回報候也

大正二年三月十三日

警視總監 安樂兼道(印)

外務省通商局長 坂田重次郎殿

(別紙)

答申書

本日附ヲ以テ御下問相成候移民送金ノ件ハ孰レモ昨年十二月六日附答申書^(註)ノ通り送附済ニ有之候間此段答申候也

大正二年三月十一日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田亀太郎(印)

警視總監 安樂兼道殿

註 該答申書左ニ附記ス

(附記)

写 上申書

当会社取扱秘露移民ヨリ委托相受候送金ノ儀延滞致居候為御下問ヲ煩ハシ恐縮仕候右者全部送金済ニ相成候間此段上

森岡移民合名会社ノ保管スル移民積金ニ関スル件

ル件

公第二九号

(六月十九日接受)

大正二年五月五日

在里馬

領事 森 安 三 郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

本件ニ関シ去ル二月七日附送第八号ヲ以テ御下命ノ趣致敬承候早速本官自身森岡支店ノ帳簿ニ就キ取調候処目下同支店ニ於テ保管中ノ移民積金ハ在「カニエテ」英製糖会社所有耕地ニ労働スル新契約移民ノ積金ニシテ当地独逸銀行ニ預托シ通帳ヲ当館ニ保管シ居ルモノヲ除キテハ悉ク第一回並ニ第二回移民ノ積金ニ有之右ハ森岡ヨリ進シテ払渡ヲナスガ如キコト無之單ニ移民ノ請求ニ応ジ払戻シ居ル有様ニ有之候然レバ本年一月十三日附ヲ以テ森岡本店ガ積金現在表ヲ警視庁ニ提出後当地支店ニ於テ払戻ヲナシタルハ僅カニ別記六口此金高九十四「ソル」九十四仙ニ過キス現ニ整理中トハ見エズ候從テ積金ノ現在高ハ別表^(註)ノ通りニ有之候条御査閱相成度候

申候也

大正元年十二月六日

東京市京橋区山城町四番地

森岡移民合名会社

代表社員 保田亀太郎

警視總監 安樂兼道殿

一七五 三月十八日

桂兼任外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

在「ペルー」本邦移民郷里送金延着ニ関スル件

送第二七号

本年一月十七日附機密第一号ヲ以テ森岡移民合名会社ノ取扱ニ係ル移民送金延着ノ件御申越之趣了承右事實取調候処移民郷里送金ニ関シテハ全部支払済ニ相成居候旨別紙写ノ通同移民取扱人ヨリ答申書差出候条此段申進候也

註 別紙トシテ添付セラレタル三月十一日附森岡移民合名会社答申書及大正元年十二月六日附同会社上申書前掲ニ付省略ス

一七六 五月五日

在リマ森領事ヨリ
牧野外務大臣宛

將又前記積金ヲ秘露倫敦銀行ニ預託シ居ルノ実否ニ関シテハ当時代理人飯田勘之助他行中ナリシヲ以テ會計係ニシテ代理人タル鳥居保四郎ニ訊シ候処積金ニ限り別口預金ノ勘定ハ開キ居ラザルモ右仕払並ニ移民一時預金ノ払戻ニハ差支ナキ丈ノ金額ヲ上記銀行ニ預ケ居ル旨申述候
右貴答申進候 敬具

註 別紙及別表省略ス該別表ニ依レバ第一回移民積金取調表(明治三十二年渡航)ハ其ノ人員五十一名ニシテ積立金合計三百九十「ソル」三十一仙ナリ又第二回移民積金取調表(明治三十六年渡航)ハ其ノ人員百六十四名ニ及ビ積立金合計千八百八十九「ソル」九十七仙ナリ

一七七 七月十日

坂田通商局長ヨリ
安樂警視總監宛

森岡移民合名会社ノ保管スル移民積金ニ関シ

取調方ノ件

送第四五七二号

本件ニ関シ本年一月二十三日附第二八七号ノ六ヲ以テ森岡移民合名会社ヨリ差出シタル答申書ヲ添ヘ御申越之次第有之候処本件ハ在里馬同会社支店ニ就キ取調ヲ為スノ必要ヲ認メ同地帝國領事ヘ移牒シ調査セル処ニ依ルニ旧口ニテ積

立金ヲ為シタルハ第一回(明治三十二年渡航)第二回(明治三十六年渡航)移民ノミニテ右積金ニ對シ森岡ヨリ進シテ払戻ヲ為スガ如キコトナク只移民ノ請求ニ應ジ隨時払戻ヲ為ス有様ニテ本年一月十三日附ヲ以テ森岡本店ガ積金現在表ヲ貴庁ニ提出後里馬支店ニ於テ払戻ヲナシタルハ僅ニ六口此金高九十四「ソル」九十四仙ニ過キズ現ニ整理ニ着手シ居ルモノトハ見エズ且該積金払戻ニ充用スル為メ秘露倫敦銀行ニ別口預金ハ開キ居ラズ單ニ右銀行へ普通預金ヲナシ其中ヨリ積金ノ払戻ヲナシ居候由回報有之候条右ハ同会社ノ答申書トハ矛盾致居候ニ付同取扱人ヲ御取質ノ上其結果御回報相成度此段申進候也

一七八 八月一日 安樂警視總監ヨリ
坂田通商局長宛

森岡移民合名会社ノ保管スル移民積金取扱ニ
關シ回答ノ件

第六四一号ノ二

(八月二日接受)

大正二年八月一日

警視總監 安樂兼道(印)
外務省通商局長 坂田重次郎殿

相成リ居候得共右等移民ガ帰国転航等ノ場合ニ於テ払渡シ来リ候モ右様ノ次第ナルヲ以テ払渡ヲ申出デザル以上ハ処分致難キ旨申来リ居候
秘露倫敦銀行ノ件ニ關シテハ普通預金ノ外右支払ノ準備トシテ約半額ノ定期預金ヲ為シ請求者ニ對シテハ順次普通預金中ヨリ支払ヒ居候
右ニ付支店へ對シ猶進ンデ支払ヲナスベキ旨命ジ置候次第ニ有之候間此段御答申上候也

大正二年七月二十六日

東京市京橋区山城町四番地
森岡移民合名会社
代表社員 保田亀太郎(印)

本月十日送第四五七二号ヲ以テ森岡移民合名会社ノ保管スル移民積立金ノ件ニ付御照会ノ趣了承取調候処本件ニ關スル移民ハ未タ秘露國ニ在留致居候モ所在分明セス先方ヨリ受取方申出無之為メ其儘ニ相成候尤モ移民等カ帰国転航ノ場合ニ於テ払渡ヲ為シ来リシモ右様ノ次第ニシテ払渡ヲ申出デザル以上処分困難ノ者ニ有之又秘露倫敦銀行ニ對シテハ普通預金ノ外右支払ノ準備トシテ約半額ノ定期預金ヲ為シ請求者ニ對シテハ順次普通預金中ヨリ支払致居候旨別紙之通答申書差出候

(別紙)

答申書

本年一月十一日附ヲ以テ明治三十二年及三十六年度秘露契約移民積立金残存ノ件ニ付御下問有之候ニ付十三日附ヲ以テ不取敢答申致置候処今般在秘露弊社支店ニ於テ進ンデ支払ヲ為サザル旨及秘露倫敦銀行ニ普通預金ノ外別途預金無之旨ヲ以テ再度御下問ニ付左ニ御答申上候也

弊社ノ照会ニ對シ支店ヨリノ回答ニヨレバ右等移民ハ未ダ秘露國ニ在留致居リ随所ニ内地ニ入り込ミ商業ヲ営ミ居ルモノトテ居処分明セズ今日迄受取方申出デザル為メ其儘ニ

警視總監 安樂兼道殿

一七九 八月八日 牧野外務大臣ヨリ
在リマ森領事宛

森岡移民合名会社保管ノ移民積金取扱ニ關スル件

通送第七五号

本件ニ關シ去ル五月五日附公第二九号ヲ以テ御報告之次第有之候処右ニ關シ森岡移民合名会社ヨリ別紙写ノ通答申書提出致候ニ付為御参考右写及御送付候也

註 別紙七月二十六日附森岡移民合名会社答申書写前掲ニ付省略ス